

この夏休み、終業式で話した「徳を積む」ことについて、いづらか積めたでしょうか。また休み中、様々な経験や体験もしたと思います。私も、先週、大阪で行われた、女子剣道全国大会の応援に行ってきました。その際、とても感心したことがありました。それは、試合前の練習時のことです。200名以上の選手の声や、竹刀の音で、会場はすさまじいまでの熱気でした。そんな中、役員の方がマイクで話を始めた瞬間、3秒とたたないうちに声と竹刀の音は消え去り、選手全員が正座をしたりするなど、役員の方に身体を向け放送に耳を傾けたのです。私は「ああ、これが全国レベルの選手なんだな」と感動しました。

時と場に応じて、自らの判断で、最善の行動を起こした選手達。こうした動きは「主体性」という言葉で表現できると思います。似たような言葉に「自主性」があります。自主性とは、「人に言われる前に率先してやること」の意味ですが、主体性とは「いかなる状況においても自分で考え、判断し、行動すること」であり、一段高いレベルにあると言えます。また、「わがまま」という言葉もありますが、これはその言動が周りに認められているかいないかがポイントです。いずれにせよ、誰よりも先に拳手して意見を述べたり、高い目標を目指して挑戦したりするなど、謙虚になりすぎず、人任せにならず、失敗を恐れず、そして恥ずかしがらず、自らの判断でたくましく行動する2学期を望みます。

1年生は、部活動では、選手として活躍したり、作品制作に積極的に関わったりする場面も増えてきます。先輩方が繋いできた伝統をしっかりと受け継ぎ、活動に励んで欲しいと思います。

2年生は、部活動を正式に引き継ぐなど、学校の中心となり活躍する立場となります。生徒会テーマを意識し、学校を積極的にリードして欲しいと願っています。

そして、3年生。最高学年として、学業をより深め、進む道を定めていくとともに、卒業への足音が日増しに感じられる頃ともなります。受験は「団体戦」と言います。共に向上し、やり抜いたという実感がもてるように、分からないことは先生方に尋ねるなどしながら、一日一日を大切に過ごしてください。

結びに、イギリスの政治家であるベンジャミン・ディズレーリが、次の言葉を残しています。

「行動することは必ずしも 幸せをもたらすわけではない。しかし、行動のないところに幸せはない」

2学期は、体育大会や学習発表会などの行事もあり、地域にアピールする絶好の時期であるとともに、工事も終了し、素敵な校舎で一層落ち着いて生活を送ることができます。徳を積みながら、主体性や自主性が伸びる学期となることを願っています。